

電磁弁ユニット 全機種共通

この度は電磁弁ユニットをご購入頂き、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書をよく読み、注意事項を守りご使用下さい。
また、本書は大切に保管しておいて下さい。
万一不具合、ご不明な点がございましたら、下記までお問合せ下さい。



—— 目次 ——

1:ご使用前に

2:各部の名称

3:取り付け

日常ご使用して頂くお客様へ

- 機械設備の為、正しい使用方法及び状態でも故障する可能性があります。万一故障した場合、使用製品以外の損害が発生する事もありますので、設定通りに作動しているか、水の出具合に漏水等の異常は無いかな、散水箇所の植栽等に大きな変化は無いかな必ず日常点検を実施して下さい。

取付工事担当者様へ

- 本製品の設置の際には「コントローラー」などを別途ご用意下さい。
- 説明書と巻末の製品保証書は、必要事項を記入の上、工事完了後は必ず管理者様、施主様（日常操作可能な方）にお渡し下さい。お手数をお掛けして申し訳ございませんが、よろしくお願い致します。



各機種の違いは【電池式コントローラーの有無】、【減圧弁の有無】
【ソレノイド種類】が異なります。
電池式コントローラーの詳細は別紙の取扱説明書をご参照下さい。

— 庭にもっと快適を —

 株式会社

本社

〒455-0025 名古屋市港区本星崎町字南3998-31

TEL:052-829-0800 FAX:052-829-0801

Email info@globen.co.jp

コントローラー設置日: _____ 年 _____ 月 _____ 日

1. ご使用の前に

取扱説明書に記載する表示について

本書には安全に関する重大な内容を表記してあります。
表示と意味は以下のようになっております。



警告

警告事項を守らない場合には死亡や重傷に至る重大な事故を起こすおそれがあります。

- ・本製品は自動散水制御専用の機器です。違う目的に使用したり、改造しないで下さい。他社製品と組み合わせての使用はしないで下さい。
- ・電池切れなどによる停止や誤作動などの原因で、使用製品以外に深刻な損害の出る事があります。必ず日常点検を行い、電源供給や誤作動がないか確認して下さい。



注意

注意事項を守らない場合には、怪我をしたり、製品が損傷する場合があります。

- ・散水機器の使用は上水道もしくは、必ず清水を使用して下さい、井戸水、雨水などの場合には十分にろ過を行ってからご使用下さい、ろ過が不十分の場合、機器の動作不良の原因となります。
- ・凍結時、または凍結が予想される場合には使用を直ちに中止して下さい。電磁弁が破損する恐れがあります。
- ・散水機器を使用しての薬品散布は行わないで下さい。
- ・散水機器のフィルター、本体の汚れは必要に応じ、水で洗浄して下さい、溶剤、薬品などは使用しないで下さい。
- ・コントローラー、センサーは当社指定のものをご使用下さい。
- ・電磁弁内に砂等の異物が入ると水が止まらない場合があります。定期的に作動状態を点検して下さい。
- ・グローベン自動散水システムはスプリンクラー、ドリップチューブなどの散水機器に見合った範囲の水圧でご使用下さい。水圧が基準範囲外の場合、散水が機能しなかったり、機器が破損する場合があります。
(下記参照)

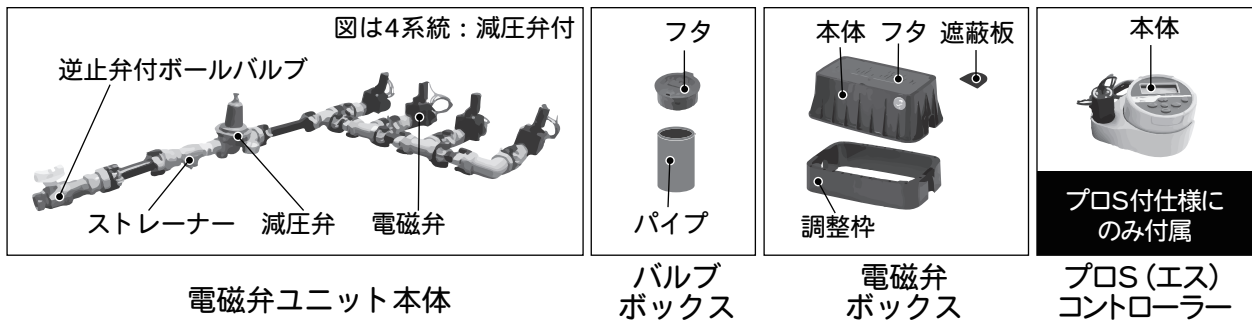
使用
水圧

ドリップチューブ、簡易ポイントタイプ：150～300kPa
小・中規模スプリンクラー：200～350kPa、大規模スプリンクラー：300～600kPa

- ・設置の際には室外機やボイラー等、強い電磁波の発生する機器から5m程度離してご使用下さい。散水が正常にされない場合があります。
- ・プロSコントローラーに9Vアルカリ電池以外は使用しないで下さい。故障の原因となります。マンガン電池は使用しないで下さい。
- ・グローベン自動散水システムは散水を補助するものです、使用中に植物等に被害が生じても当社は責任を負いかねますので予めご了承願います。

2. 各部品の名称

本体各部 /



梱包内容：コントローラー無し /

系統数	商品コード	電力	減圧弁	電磁弁数	バルブボックス フタ、パイプ	電磁弁ボックス 本体、フタ、調整枠	遮蔽板
1 系統用	C10SBY100	AC24V	×	1	1	1	2
	C10SBY100DC	DC6V				1	
	C10SBY100G	AC24V	○			2	4
	C10SBY100GDC	DC6V				2	
2 系統用	C10SBY200	AC24V	×	2	1	2	8
	C10SBY200DC	DC6V					
	C10SBY200G	AC24V	○				
	C10SBY200GDC	DC6V					
3 系統用	C10SBY300	AC24V	×	3	1	3	11
	C10SBY300DC	DC6V					
	C10SBY300G	AC24V	○				
	C10SBY300GDC	DC6V					
4 系統用	C10SBY400	AC24V	×	4	1	3	12
	C10SBY400DC	DC6V					
	C10SBY400G	AC24V	○				
	C10SBY400GDC	DC6V					
5 系統用	C10SBY500	AC24V	×	5	1	4	15
	C10SBY500DC	DC6V					
	C10SBY500G	AC24V	○				
	C10SBY500GDC	DC6V					
6 系統用	C10SBY600	AC24V	×	6	1	4	16
	C10SBY600	DC6V					
	C10SBY600G	AC24V	○				
	C10SBY600G	DC6V					

※AC24V：ケーブル赤×2、DC6V：ケーブル赤×1、黒×1

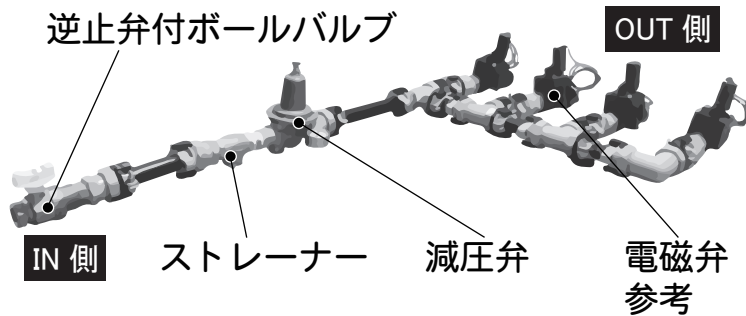
※別途：コントローラーが必要になります

梱包内容：コントローラー付 /

系統数	商品コード	減圧弁	電池式プロS コントローラー	電磁弁数	バルブボックス フタ、パイプ	電磁弁ボックス 本体、フタ、調整枠	遮蔽板
1 系統用	C10SR100	×	1台	1	1	1	2
	C10SR100G	○	1系統制御			2	4
2 系統用	C10SR120	×	1台	2	1	2	8
	C10SR120G	○	2系統制御				

※別途：DC9V アルカリ電池が必要です

各製品の働きと注意事項



呼び径：接続口径

I N 入側 :20A メネジ

OUT 出側 :20A メネジ

図は4系統：減圧弁付の仕様です。電磁弁の数量や減圧弁の有無は仕様により異なります。

逆止弁付ボールバルブ



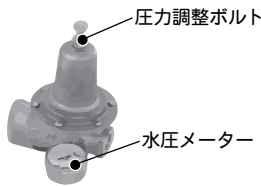
自動散水時は開放状態にします。漏水等の緊急時や点検洗浄時は閉めて、通水を遮断します。

ストレーナー



電磁弁へのゴミ進入を防ぐフィルターです。キャップを外すと内部フィルター洗浄ができます。

減圧弁



減圧弁は自動散水に、最適な水圧 (300 kPa) に圧力調整済なので、調整の必要ありません。調整は 250 ~ 400kPa の範囲で可能。水圧メーターは初期設定専用です。

減圧弁は給水管内の水圧を減少させて、高水圧から他の機器やドリップチューブを保護します。設定圧力の変更は圧力調整ボルトを右回転 (時計回り) すると設定圧力は上がり、左回転 (反時計回り) すると設定圧力は下がります。内部のストレーナーに砂やゴミが溜まって目詰まると流量が減少するので、必要に応じて底面のキャップを外して洗浄して下さい。

電磁弁



ケーブルをコントローラーと接続します。ソレノイドは通電して開閉動作を行う部品で、仕様ごとにケーブル色が異なります。

●ソレノイド

ソレノイドは電磁石コイルで、通電すると内部作動して開閉動作をします。ON 方向 (反時計回り) に緩めると、設置直後の通水試験や現場で通電していない場合でも手動散水が可能です。自動散水で使用するには、必ず OFF 方向 (時計回り) に回してソレノイドがしっかり締めて、ご使用下さい。緩んだままだと、設定時間外に水が出てしまったり、水が止まらない症状が発生します。

●ケーブル

AC24V 仕様は電磁極性が無いので、接続を区別する必要はありません。DC 6V 仕様は電磁極性があるので、接続時にはケーブル色に注意して下さい。ケーブル色：AC24V= 赤 2本、DC6V= 赤、黒：各 1本

●水量調節ネジ

水量調節ネジを時計回りに閉めると、電磁弁を通る水の流量を少なく出来ます。(各系統の全体の水量を抑える事が出来ます。)* 出荷時は全開の状態です。ネジをきつく締めすぎると破損の恐れがあります。

●空気抜きネジ

ネジを反時計回りに開けると、ソレノイドを緩めた時と同様に手動散水が可能です。設置後にソレノイドが緩めにくい場合にご使用下さい。* 出荷時は閉めた状態ですが、確認のため時計回りに閉め直して下さい。ネジをきつく締めすぎると破損の恐れがあります。

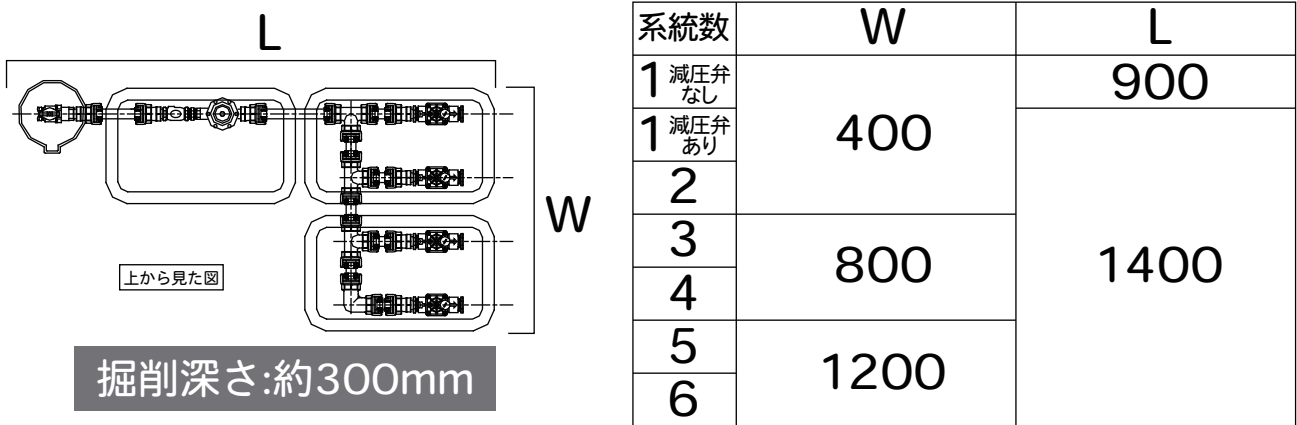
電磁弁仕様

呼び径	20A メネジ: 変換継ぎ手使用	
対応可能水圧	140 ~ 1050kPa	
使用流体	清水 (砂等の異物を含まない)	
使用流体温度	4℃ ~ 40℃	
電圧/電力	AC24V 仕様	AC24V 50Hz/60Hz 190 ~ 280mA
	DC6V 仕様	DC6V
流量 L/min	0.7 ~ 113.5 リットル/分 (調節可能)	

3. 取り付け

土壌掘削

電磁弁はボックス収納して、メンテナンス出来る様にします。下図、表を目安に設置スペースを掘削して下さい。



配管接続

別売の塩ビ管 (HIVP):20A を用意して、接続して下さい。



- ・電磁弁に取付済のポリキャップ栓は破棄して下さい。
- ・電磁弁ユニットと塩ビ管の接続部分には、シールテープを巻いて、水漏れが無い様にして下さい。

呼び径接続口径

I N 入側 :20A メネジ
OUT 出側 :20A メネジ

制御線接続

制御線の結線部分は、必ず防水処理をして下さい。

※プロSコントローラー付仕様は、制御線の加工が必要ないので、この手順は省略して次の項目へ進んで下さい。
別売の延長用制御ケーブル、圧着端子、保護管などを用意して、接続して下さい。コントローラー底部の穴にP F管（保護管）を接続し、制御線の片方を延長して、コントローラーの系統番号に接続します。（『STATION』の番号になります。）
制御線のもう一方を共通線（『COMON線』）で全てつなぎコントローラーの「COM」と接続します。（詳細は各コントローラーの取説をご参照下さい。）

電力タイプ	接続する端子台とケーブルカラー	
	系統番号	COM : 共通線
AC24V	赤	赤
DC6V	赤	黒

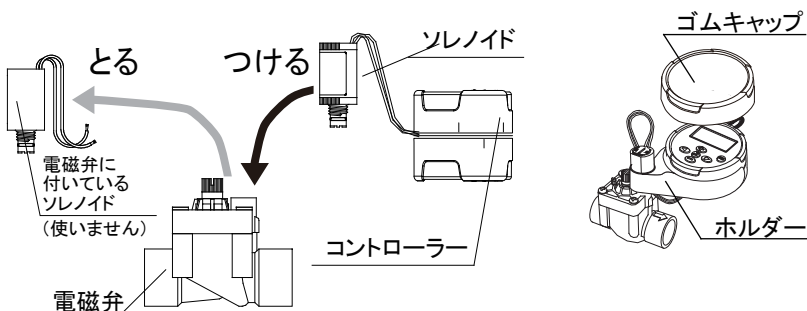
※AC24Vタイプは電磁極性が無いので、どちらを接続しても作動します

推奨延長ケーブル
VCTF:0.5SQ以上

上記は推奨品で当社指定ではありません。
ケーブルの延長距離や設置状況に応じ、
電気工事店などにご確認下さい。

プロSコントローラー付の場合

- 1: 電磁弁に付いているソレノイドをはずします。（取り外したソレノイドは不要です）
- 2: コントローラーに付いているソレノイドを電磁弁に取り付け、ゴムキャップを被せます。
（2系統用は2つとも取り替えて下さい）



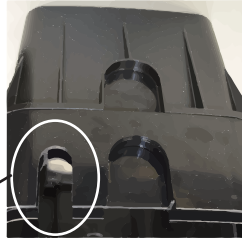
ソレノイドについて

ソレノイドは必ず最後まできつく閉めて下さい。緩んでいる場合には水が流れ続けてしまいます。

調整枠について

調整枠は、追加の加工によって、各々の位置が系統数（電磁弁数）で決まっており、開口部を合わせる必要があります。下記を参照に設置して下さい。
電磁弁ボックス本体と中間部には付属の遮蔽板をはめて下さい。
（※各遮蔽板は接着する必要はありません。）

調整枠



ポリエチレンパイプや塩ビ管を通します。

遮蔽板取付後

電磁弁ボックス本体と中間部



納品時



遮蔽板取付後

1 系統用	C10SBY100 C10SBY100G	C10SR100 C10SR100G
	遮蔽板は本体にのみ使用します。	

C10SBY100/C10SR100
減圧弁なし

遮蔽板 使用数	
本体	2

C10SBY100G/C10SR100G
減圧弁あり

遮蔽板 使用数	
本体	4

開口部を使用
遮蔽板を取付ける

3 系統用	C10SBY300 C10SBY300G
--------------	-------------------------

遮蔽板 使用数	
本体	6
調整枠	5
合計	11

開口部を使用
遮蔽板を取付ける

2 系統用	C10SBY200 C10SBY200G	C10SBY120 C10SBY120G
--------------	-------------------------	-------------------------

遮蔽板 使用数	
本体	4
調整枠	4
合計	8

開口部を使用
遮蔽板を取付ける

4 系統用	C10SBY400 C10SBY400G
--------------	-------------------------

遮蔽板 使用数	
本体	6
調整枠	6
合計	12

開口部を使用
遮蔽板を取付ける

5 系統用	C10SBY500 C10SBY500G
--------------	-------------------------

遮蔽板 使用数	
本体	8
調整枠	7
合計	15

開口部を使用
遮蔽板を取付ける

6 系統用	C10SBY600 C10SBY600G
--------------	-------------------------

遮蔽板 使用数	
本体	8
調整枠	8
合計	16

開口部を使用
遮蔽板を取付ける